

答 申 書

富士市公共下水道使用料の
改定について

平成30年9月10日

富士市水道事業及び公共下水道事業
経営審議会

富士市長 小長井 義正 様

富士市水道事業及び
公共下水道事業経営審議会
会長 小滝 勝昭

富士市公共下水道使用料の改定について（答申）

平成30年8月1日付け富上下経発第84号で諮問のあった「富士市公共下水道使用料の改定」について、当審議会にて慎重に審議を行った結果、下記のとおり答申します。

なお、今後の公共下水道事業の経営に当たり当審議会としての意見等を「審議の過程における意見等について」としてまとめましたので、引き続き公共の福祉の増進を図るとともに、より一層の経営努力をされますよう申し添えます。

記

1 富士市公共下水道使用料の改定について

当審議会は、上下水道部から提出された「公共下水道事業会計収支予測（平成31年度～平成40年度）」に基づく「公共下水道使用料」について審議した結果、平成31年度から平成35年度までの間、現行の公共下水道使用料を据え置くことが妥当なものであるとの結論に至りました。

結論に至った理由は、以下のとおりであります。

- (1) 現行の下水道使用料を継続した場合の収支予測では、経費回収率や一般会計繰入金比率など主要な経営指標は好転しないものの、企業債残高の大幅な減少が見込まれるなど、財政的には安定した事業経営が維持できる見通しであること。
- (2) 現行の下水道使用料を継続した場合においても、管路及び処理場施設の計画的な更新、長寿命化、耐震化を着実に推進することができる見通しであること。
- (3) 近年の社会経済情勢に鑑み、利用者の家計等への影響を考慮すると、下水道使用料の現状維持が適切であること。

2 審議の過程における意見等について

公共下水道事業は、快適な生活環境の確保のため欠くことのできない事業であり、計画的・継続的な事業実施が必要である。

そのため事業の安定経営に向け、更なる事業の効率化と一層の経費の縮減に努めるとともに、以下のことに留意し、今後の事業経営を実施されたい。

(1) 適正な下水道使用料のあり方の検討

公共下水道事業は、公営企業として、中長期的な視点から事業経営を行うべきであり、既存施設における将来の改築及び維持管理費用について、一般会計負担金を含め、十分な財源の確保を行う必要がある。

今回の下水道使用料の据え置きは5年間としたが、下水道使用料を改定しない期間が長期にわたると、改定率が大きくなるため、事業経営の見通しや市の財政状況、社会経済情勢を踏まえ、平成36年度以降の適正な下水道使用料のあり方について平成35年度までに検討を実施されたい。

(2) 生活排水処理長期計画の見直し

公共下水道の整備については、平成30年4月に公表した「生活排水処理長期計画」に基づき人口密度が高い区域を中心に効率的かつ計画的に進めていくが、将来に渡り持続的に健全で安定した事業経営を維持していくため、整備予定区域の人口動態を注視するとともに、整備計画区域の更なる縮小を考慮して、「生活排水処理長期計画」について平成35年度までに見直しを検討されたい。

(3) 安全で快適な市民生活の確保

公共下水道は、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るという環境面での重要な役割を担っている。

管路及び処理場施設の長寿命化や耐震化を進めることにより、施設を健全な状態に保ち災害に強い下水道を確立することで、更なる安全で快適な市民生活の確保に努められたい。

以上

資料

【資料 1】 富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員名簿

選出区分	氏名	所属	備考
学識経験者	小滝 勝昭	富士信用金庫 会長	会長
	藤川 格司	常葉大学 社会環境学部教授	副会長
	山本 浩之	元富士市代表監査委員	
	和泉 清明	公認会計士・税理士	
	目黒 輝久	環境計量士	
公共的団体の 代表者等	松野 俊一	富士市町内会連合会 副会長	
	渡邊 榮一	富士商工会議所 1号議員	
	渡邊 啓視	富士市社会福祉協議会 副会長	
	吉村 てるゑ	女性ネットワーク・富士 副会長	
	田中 富子	富士市消費者運動連絡会 副代表	
	羽田 たつみ	富士商工会議所エコーレ（女性会） 副会長	
	佐藤 直美	きらり交流会議 委員長	
水道及び公共 下水道の使用 者	遠藤 卯美	公募委員	
	竹下 隆	公募委員	
	前島 義之	公募委員	

【資料 2】 審議会開催日程等

回数	開催日等	出席 者数	審議内容等
第 1 回	平成 30 年 8 月 1 日 (水) 13 時 30 分～15 時 10 分 市庁舎 10 階 全員協議会室	10 名	①富士市公共下水道使用料改定について（諮問） ②富士市公共下水道使用料改定についての審議 （配布資料「富士市公共下水道事業の現状と課題、収支予測及び下水道使用料改定の検討について」）
第 2 回	平成 30 年 8 月 20 日 (月) 13 時 30 分～13 時 41 分 市庁舎 10 階 全員協議会室	9 名	①富士市公共下水道使用料改定の答申（案）についての審議 （配布資料 答申書（案）「富士市公共下水道使用料の改定について」）